神戸医療センター

内科

指導担当医（役職）

土屋　貴昭（病棟診療部長）

実習概要

概要

当院では内科を総合内科（内科）、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科の4部門に分けていますが、内科の臨床実習としては、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科いずれかの部門に所属いただき４週間の実習をしていただきます。

基本的には事前に主たる科の希望を伺い、他の実習生との調整をして実習する科を選択できるようにしています。

検査、処方、点滴などのオーダー入力は行いませんが、１人当たり2～3人名の患者さんを担当し主治医団の一員として責任をもって診療、カルテ記載、治療計画の立案、治療の実行、を行いますので、ほぼ初期研修医と同様に実習していただきます。各科のカンファレンスでは研修医と同じく、口頭での症例プレゼンテーションを行っていただきます。

医療面接

毎日、最低限、午前中に1回は必ず担当患者を訪室し、医療面接と身体診察を行います。
初診外来で問診を行うことや、聴講を行います。

身体診察

担当患者を毎日診察します。特に、心音・肺音聴診、頸静脈怒張や下腿浮腫の有無、血管病変の触診などはエキスパートになれるように指導します。それ以外の内科的診察手技に関しても、一通りできるよう、トレーニングを行います。

カルテ記載

毎日、学生カルテに記載を行います。指導医が記載内容をチェックし指導します。

症例プレゼンテーション

各科のカンファレンスで研修医と同じく口頭で担当患者のプレゼンテーションを行います。

場合により内科全体のモーニングカンファレンスや臨床病理検討会（CPC）でもプレゼンテーションしていただくことがあります。

その他（特色など）

救急を経験したい希望者には患者さんが来院した時にPHSで連絡します。

配属された科以外の検査、カンファレンスなどへの見学、参加希望には柔軟に対応します。

学生へのメッセージ

臨床実習１では理解の難しかった内科の病態に迫った臨床を経験しましょう。病態を初めから最後まで診る経験が重要で、それに対するトレーニングを十分に提供できると考えています。

4週間、しっかりと内科臨床の基礎を学び、今後の進路で内科系を選択したくなるような実習を心がけます。